

# 委員会 調査レポート



コラム 市議会における特別委員会とは

## 特別委員会ってなに？

市議会における特別委員会とは、広報の編集・発行や特定の重要課題、期間や目的が限定された調査・審査を行うため、議会の議決により設置される委員会です。常に設置されている常任委員会では扱いきれない横断的かつ重点的な事項を扱い、設置目的の達成や調査終了をもって解散するのが特徴です。予算審査特別委員会や議会広報調査特別委員会、百条委員会などが該当します。また、今回の議会基本条例の制定についても、「議会基本条例制定検討特別委員会」が設置され議会基本条例について調査・研究をしていました。



▲議会広報調査特別委員会

議会だよりふくつをお読みいただきありがとうございます。紙面に対する感想やご意見などがありましたら、声をお聞かせください。いただいた内容は今後の編集の参考とするほか、紙面で紹介する場合もあります。なお、原則、直接回答は行っていないのでご了承ください。

きりとり  
POST CARD

8 1 1 - 3 2 9 3  
福津市役所  
議会事務局 行

**G FUKUTSU**  
議会だより ふくつ

2026. 冬 号

フリガナ  
氏名

年齢

住所 〒 -

歳

電話番号（紙面掲載時の確認の際に連絡します）

ペンネーム

各常任委員会が所管する市の

事務について行った所管事務調査と、先進地への行政視察を報告します。

## 建設環境委員会

市民共働部、経済産業部、都市整備部、農業委員会事務局の事務について調査研究しています。



### 新規就農とスマート農業について視察

将来的な農業基盤の維持・強化を図る上で、新規就農の受け入れ体制や支援制度の充実喫緊の課題である。また農業後継者不足や高齢化対策として、ICT活用によるスマート農業の推進が重要な課題でもある。そこで他自治体の先進的な取り組みを視察した。

**調査結果**  
滋賀県守山市は、市農政課が就農相談を担い、窓口以外に就農フェア、県やJA、ハローワーク等の相談経路の多様化を図ら

れている。就農希望者が安心して就農できる多様なサポート体制が構築されている。  
広島県北広島町は、ICTを活用した稲作管理システムで省力化と効率化が図られ若手就農者が増加。これにより地域の活性化につながり、米づくり産地のブランド化に成功した。  
**委員会からの提言**  
就農フェアや地域説明会での希望者に応じた個別支援体制、研修から独立後まで一貫した支



▲活発な質問がおこなわれた新規就農の視察



報告書はこちら

## 市民福祉委員会

市民生活部、健康福祉部、こども家庭部の事務について調査研究しています。



### こども誰でも通園制度の先行実施自治体を視察

来年度から実施予定の「こども誰でも通園制度」についても試行実施している埼玉県志木市と行田市を視察し、状況の調査



▲制度導入に向け先行実施している自治体を調査

と課題等の把握を行った。  
**調査結果**  
志木市では、令和5年度に同制度の実施内容検討および公立保育所向けの説明会を実施。翌年度には民間事業者による事業説明会を実施した。令和7年度に柔軟利用を開始。現在は8つの私立園が同制度の対象施設である。  
行田市では、令和6年度から試行的事業を1園から実施。その後追加拡大し、現在は保育所・幼稚園・認

定こども園の計5園で同制度を実施している。利用受付は市公式LINEで登録。担当課での面接時に子どもの基本項目などを聴取する。対象乳幼児は466人で現在の登録人数は145人。月10時間を上限にチケットを発行して運用している。

### 委員会からの提言

本市は保育士不足や待機児童の状況から、私立園での実施は当面は難しいため、公立保育所で導入をめざしている。同制度は、在宅の子育て世帯の孤立を防ぐ目的もあるため、速やかな制度拡充の準備が必要である。



報告書はこちら

## 総務文教委員会

総務部、経営企画部、教育部、会計課、監査事務局等の事務について調査研究しています。



### 地域防災計画と業務継続計画を検証し、課題を調査

令和7年8月の豪雨で2人が亡くなり、各施設に甚大な被害が発生した。市の初動対応を検証し、課題と見直しの方向性を明確にするため調査を実施した。  
**調査結果**  
初動対応について、土砂災害警戒情報等により地域防災計画の災害対策本部設置基準および避難指示発令基準を満たしていたにもかかわらず、9日夜間に災害対策本部の設置および避難指示の発令が行われず、避難所開設や災害関連情報の周知が

遅れた。他方で、避難所や相談窓口の設置、災害ボランティアセンターの開設、災害救助法の適用等、被災者支援については概ね計画どおり実施された。検証を進め、地域防災計画および業務継続計画（BCP）の修正案を作成し、年度内に市民へ報告する方針である。  
**委員会からの提言**  
地域防災計画の基準を満たす状況では、夜間であっても躊躇なく避難指示を発令すべきであ



▲今回の災害の教訓を今後どう生かしていくのか



報告書はこちら

議会の傍聴してみませんか。傍聴の際は、傍聴規則を遵守し、大声や拍手を厳に慎んでいただきますようお願いします。なお、本会、予算・決算審査特別委員会は、中継と録画配信（開催日の翌日から原則3日以内に配信）もしています。

※託児サービスあり(要事前予約)

中継・録画配信

次回の定例会

3月定例会  
2月27日(金)開会  
3月26日(木)閉会予定

請願陳情の受付締切 2月18日(火)正午

市議会HP

議会の地位

住民を代表する公選の議員で構成される地方公共団体の議事機関です。

議会の二つの使命

①地方公共団体の条例や予算等の団体意思を最終的に決定すること。

②執行機関の行財政の運営や事務処理ないし事業の実施が、すべて適法かつ適切に、公平で効率的に、そして民主的になされているかどうかを批判し監視すること。

議員の職責

議会の二つの使命を完全に達成できるよう懸命に努力すること。

編集後記

今号では「議会基本条例」を特集しました。議員の率直な声や市民から見た議会・議員のイメージを掲載し、議会の役割や存在意義を改めて考える機会としています。お声を寄せてくださった皆さまに感謝申し上げます。

議会基本条例は、市民と議会をつなぐ新たな指針であり、透明性や信頼性を高める大切な一歩です。皆さまに信頼される議会をめざしてまいります。

(井手口 忠信)

発行責任者 議長 高山 賢二

議会広報調査特別委員会

委員長 中村 恵輔  
副委員長 中村 晶代  
委員 大山 隆之 岩下 豊  
井手口 忠信 倉元 敏徳

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまには、日頃より福津市議会の活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は豪雨災害もあり、市民生活に大きな影響が生じました。被災された皆さまに改めてお見舞い申し上げます。議会としても、復旧・復興に向けた施策を後押しするとともに、一層の防災・減災の強化につなげてまいります。

今号では議会基本条例の制定に向けた取り組みを特集しました。現在、条例案のパブリックコメントを実施しています。皆さまからいただいた

ご意見を真摯に受け止め、より実効性のある内容へと磨き上げてまいります。

また、任期が残り一年を切りました。これまでの議論を形にし、次の時代へ引き継ぐ重要な局面です。信頼される議会をめざし、この一年の取り組みを進めてまいります。

本年が皆さまにとって幸多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

福津市議長 高山 賢二

また、災害に見舞われた方にお見舞い申し上げます。災害以前の暮らしに一日も早く戻ることが出来るようお祈ります。

(だるまさん／50歳代)

財政状況についてもっと詳しく知りたい

前号の検証！ふくつのくらでは、市の予算の使い方についての特集が組まれていて、「なるほど」と興味深く読ませていただきました。福津市は、お金がない、お金がないとよく耳にしますが、人口も増えて、税収も上がっているはずなのに、なんでそんなにお金がないのかと疑問に思っていました。

また、市民が納めた税金がどのように使われたかが掲載されていました。市の支出を現実的な金額に置き換えた、税金一万円の用途がとてもわかりやすかったです。

私たちも、福津市の財政状況について、もっと知りたいと感じる内容でした。

(ねこすけさん／40歳代)

とても素敵に出来上がっていてびっくり

前号で、議会だよりの表紙や紙面に生徒たちを登場させていただき、ありがとうございます。どんな仕上がりになるか楽しみにしていましたが、とても素敵な出来上がりで、びっくりしました。生徒たち

ふんちゃんを探せ！  
ふんちゃんクイズ答え

①議会基本条例  
②パブリックコメント  
③2月27日(金)

津屋崎書道教室として立ち上げて、ちょうど10周年を迎え、良い記念となりました。

(津屋崎書道教室さん)



福岡県町村議会議長会主催の広報研修会に参加

同研修会へ広報委員長が参加しました。「戦略的広報と議会報づくりの型」をテーマに広報の目的や紙面構成を学びました。今後の広報編集に生かし、市民へ伝える広報の充実をめざします。



福岡県中部十一市議会議長会の議員研修会に出席

福岡県中部十一市議会議長会主催の議員研修会が古賀市で開催されました。「議員の基本的役割」をテーマに全国市議会議長会の篠田光洋氏から議員の基本的役割や一般質問・討論における発言の在り方について講演がありました。議会が果たすべきチェック機能と政策提案力を改めて確認し、今後の議会活動に生かしていきます。

おたよりカフェ

議会だよりについでに市民の皆様のご感想やご意見を紹介します。

83号の特集 検証！ふくつのくらしを読んだ

令和6年度の事業がわかりやすく書いてあり、他の事業についても見てみたいと思いました。福津市は、お金が無いと聞きましたが、人口が増えているのになぜお金がないのか疑問です。

また、子育て支援の商品券がなくなってしまうと困っている人がいると聞きました。再開されることはあるのでしょうか。

前号のGFUKUTSU 議案審議、補正予算を読んだ

補正予算で8月の豪雨災害の復旧事業費が、沢山審議されていました。未だに災害の爪痕が、市内のいたるところに残っています。通行止めの道路もまだあるので、早く復旧出来るよう期待します。

感想やご意見は、以下のはがきを切り取り、切手を貼って郵送するか、市役所、市図書館、津屋崎行政センター設置の意見箱に投函してください。なお、右の感想・ご意見フォームからも提出できます。

感想・ご意見フォーム

議会だより ふくつ 2026.冬号

特集 議会基本条例、意見求む

Q1 今号でよかったと思う記事をご記入ください。

Q2 改善してほしいと思う記事をご記入ください。

Q3 紙面の感想やご意見があればご記入ください。